

2025 年 8 月 22 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

**「第 70 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり」、経済波及効果は約 48 億円
～延べ 103 万 9 千人が来場、地域経済を力強く後押し～**

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 小川 真二）は、おりもの感謝祭一宮七夕まつり協進会および一宮市のご協力のもと、「第 70 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり」の経済波及効果を取りまとめましたのでご案内します。

調査結果要旨

**第 70 回おりもの感謝祭 一宮七夕まつり
愛知県内への経済波及効果**

48.2 億円

イベント概要

イベント名 : 第 70 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり
開催日程 : 2025 年 7 月 24 日（木）～27 日（日）
開催地 : 愛知県一宮市（真清田神社、本町商店街、銀座通り、一宮駅周辺）
特徴 : 第 70 回を迎えた地域最大級の夏の風物詩
来場者数 : 延べ 103 万 9 千人
主催 : おりもの感謝祭一宮七夕まつり協進会

推計結果

第 70 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり 経済波及効果 (単位：億円)

効果区分	来場者消費	主催者支出	合計
県内消費増加額	37.9	0.8	38.7
①直接効果	29.2	0.7	29.9
②第 1 次間接波及効果	10.5	0.2	10.7
③第 2 次間接波及効果	7.3	0.2	7.6
経済波及効果（①＋②＋③）	47.1	1.1	48.2

※おりもの感謝祭一宮七夕まつり協進会および一宮市のご協力により、来場者数・来場者居住地データ・来場者アンケート結果等の提供を受け、分析・算出しました。

※表中の数値は四捨五入されたものであり、合計と合致しない場合があります。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい

資料配布場所：大垣市政経済記者クラブ、名古屋証券取引所・金融記者クラブ、一宮日刊記者会

【本件に関するお問い合わせ先：(株)O K B 総研 調査部 中澤 Tel.0584-74-2615】

【イベントの特徴と来場者数】

第 70 回を迎えたおりもの感謝祭一宮七夕まつりは、戦後間もない 1956 年に始まり、尾州織物の産地として知られる一宮市を象徴する地域最大級の夏の風物詩です。

七夕まつり会場は七夕飾りや催しで彩られる中、4 日間で延べ 103 万 9 千人が訪れ、飲食やイベント参加・土産品・交通・宿泊など幅広い分野で地域内に多くの消費が生まれました。

イベント概要

イ ベ ン ト 名	第 70 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり
開 催 日 程	2025 年 7 月 24 日（木）～27 日（日）
開 催 地	愛知県一宮市（真清田神社、本町商店街、銀座通り、一宮駅周辺）
来 場 者 数	延べ 103 万 9 千人

【調査概要】

分 析 対 象	来場者消費（延べ 103 万 9 千人分の推計消費額）、主催者支出
デ ー タ 出 所	・主催者公表の来場者数・来場者居住地データ ・一宮七夕まつり協進会実施の来場者アンケート結果 ・主催者提供の事業費
分 析 手 法	愛知県公表「2015 年産業連関表分析ツール（109 分類）」を用い、直接効果・第 1 次間接波及効果・第 2 次間接波及効果を算出
対 象 エ リ ア	愛知県内

【調査結果】

（1）来場者消費単価

来場者アンケート「おまつり関連で使った一人当たりの金額」をもとに、下記の通り、居住地別に市内、県内（一宮市以外）、県外の来場者消費単価を推計しました。

来場者居住地別 消費単価（1 日当たり）

（単位：円）

費 目	市 内	県 内 （一宮市以外）	県 外
交通費	286	835	2,425
飲食費（その場で飲食）	945	1,386	1,039
飲食物（コンビニ・スーパー等で購入）	240	444	1,120
遊び・体験費	184	476	162
雑貨・おもちゃ・お土産等の購入費	206	302	471
宿泊費	0	0	974
衣装関連購入費（浴衣等）	308	526	568
その他	170	262	1,055
計	2,338	4,230	7,815

（２）愛知県内への経済波及効果

来場者居住地データより、来場者数 103 万 9 千人を振り分け、（１）で算出した消費単価を振り分け、来場者全体の消費額「来場者消費」を 37 億 8,760 万円と推計しました。「来場者消費」と主催者による事業費「主催者支出」を合わせた「一宮七夕まつり」開催に伴う消費増加額は 38 億 6,932 万円となりました。

この消費増加額による愛知県内への生産誘発額について、愛知県公表「2015 年産業連関表分析ツール（109 分類）」を用い算出したところ、愛知県内への経済波及効果は 48 億 1,608 万円となりました。

「第 70 回 一宮七夕まつり」開催に伴う愛知県内への経済波及効果（単位：百万円）

効果区分	①来場者消費	②主催者支出	合計（①＋②）
県内消費増加額	3,788	82	3,869
① 直接効果	2,922	67	2,988
② 第 1 次間接波及効果	1,050	21	1,071
③ 第 2 次間接波及効果	734	23	756
総合効果（①＋②＋③）	4,706	110	4,816

※表中の数値は四捨五入されたものであり、合計と合致しない場合がある。

【推計方法】

- ・各項目（飲食費等）の消費額を 109 部門に分類
- ・波及効果分析ツールにより、購入者価格から生産者価格へ変換（商業マージン・運輸マージンの算出）、第 1 次経済波及効果、第 2 次経済波及効果、総合効果を算出

【用語解説】

直接効果：県内での投資額・消費額そのものによる効果

第 1 次間接波及効果：直接効果により原材料等の購入が発生し誘発される生産効果

第 2 次間接波及効果：雇用者所得の増加が家計消費に回り、さらに誘発される生産効果

【総括】

今回の調査では、70 年続く地域文化の象徴である「一宮七夕まつり」がもたらす経済的価値の大きさが改めて示されました。来場者の約 2 割は県外から訪れ、宿泊を伴う来訪も一定数確認されました。主催者支出は全体の約 2%にとどまるものの、市内の建設業やサービス業への寄与は明確です。

当社は OKB 大垣共立銀行グループのシンクタンクとして、地域経済や観光施策の分析を通じ、地域の魅力を可視化しています。2023 年 10 月、OKB 大垣共立銀行は尾西支店を「一宮支店」へ移転・改称し、「尾州織物」や「一宮七夕まつり」をイメージした店内空間や、太陽光発電設備・電気自動車導入による環境への配慮も進めています。

本調査は、こうした地域文化の発信とその経済効果の可視化を通じて、持続可能な地域づくりを推進する一環として実施しました。今後も行政や地域事業者と連携し、観光資源の活用や次回開催に向けた分析を継続し、地域経済と文化の発展に貢献してまいります。

以上